



社会福祉法人 三原福祉会 三原慶雲寮

geriatric welfare home for the elderly
MIHARA-KEIUNRYO



仕事と家庭の両立支援として、事業所で取り組まれていることはありますか？

三原慶雲寮は、昭和 49 (1974) 年 5 月の養護老人ホームと特別養護老人ホーム事業の開設以来、多くの女性職員の、産休後・育休後の復職により、事業を継続してきた歴史があります。平成 23 (2011) 年 3 月には「仕事と家庭両立支援企業」として登録を受け、現在も、さらに積極的な取り組みを行っています。

今では、仕事と家庭の両立で職場から理解と支えを受けていた職員が、子育てがひと段落して、今度は支える側にまわるバトンタッチが行われ、ここ 10 年で、その取り組みはあたりまえとなってきたように思えます。

現在まで、「育児休業の完全取得」「育児優先の勤務日設定」「育児短時間勤務」の取組の他、男性職員の「いきいきパパの育休奨励 (H27.6)」の利用、現在では育児だけでなく介護が必要な場面への配慮や、職員の年齢に関係なくそのライフステージに合わせ、様々な働き方が柔軟に対応できるように進めています。



求職者の方へメッセージをお願いします

私たちの事業は、「支えを必要としているひと」に、福祉と介護のケアを、日々提供するもので、その役割は「途中でやめることができない」ものであります。

今、三原慶雲寮は、この「ひと」を支える事業を、これから 10 年もその先も安定して続けていけるよう、将来と一緒に支えていただける方を募集しています。

そのために、「時代に即した教育」や「設備面などの環境整備」の他、より一層、働く職員の方が、「安心して、気持ちよく、自信をもって働ける環境」に向けて、改革と挑戦に取り組んでいます。

ご経験のある方からは、良い意見を取り入れつつ、未経験の方には徐々に役割を担えるよう支援しています。

この業界のお仕事に興味をお持ちの方には、「ひとを支える」という仕事に価値が感じられ、そして「仕事と家庭が両立」でき、「安定して働ける職場」として、三原慶雲寮を選考先のひとつに加えていただけると嬉しいです。

ご就職が、ご自身の未来と事業の将来が重なってイメージできるものとなるように、私たちも日々挑戦してまいります。

ご応募をお待ちしています。また、お問い合わせや、ご見学も大歓迎です。

お待ちしております



スタッフの声を教えてください



女性 (30 代)

私は子供がいることや病気で手術をすることになったため転職をしました。手術後思うように良くならなかった時に、時短勤務からゆっくり働いてみたらいいよと声をかけていただき安心しました。体調に合わせて働くことができたので仕事と家事の両立もでき、時短勤務で就職させてもらうことができたのがとても助かりました。

女性 (30 代)

私は実家も遠く子供もまだ小さいため、パートタイム・土日休みという希望で就職活動をしていました。そんな中、私の事情を理解してくださり、さらに小さい子供のことを考え勤務の時間調整など親身になって考えてくださった三原慶雲寮に就職させていただきました。就職後も急な子供の体調不良などによる早退や欠勤に対しても理解があり、とても助かっています。

男性 (40 代)

うちは共働きで、3 人目の子どもの出産後に利用させてもらいました。出産前、6 歳と 3 歳の子どもがおり、6 歳の子どもは幼稚園、3 歳の子どもは妻の出産後、自宅で一緒でした。妻の出産後の幼稚園の送り迎えや 3 歳の子どもの面倒を心配していましたが、育児休暇をとらせてもらえることを聞いて、とても安心したそうです。出産後の育児休暇では幼稚園の送り迎えや、3 歳の子の世話にと大変なことも多かったですが、子どもたちとじっくり関わることができて、見たことのない子どもの一面や、強さを知ることもでき、今でも大事な思い出の 1 つになっています。

女性 (30 代)

長女が小学校に進学するにあたり、勤務時間を夕方 1 時間短縮する勤務に変更してもらいました。長女の発達に不安があったこと、勉強に対するフォローをしたかったことが、主な理由です。現在子供たちは、3 年生と 1 年生になりました。宿題の直しや計算カードなどやるものがたくさんあるので、夕方の 1 時間で子供も私も余裕が生まれていると感じています。職場の同僚の理解と協力があり感謝しています。育児と仕事の両立は大変ですが、末永く勤めていきたいと思っています。

